

大分教育事務所訪問 19

津久見市立青江小学校から学ぶ

学校の教育目標「心豊かで、よく考え学び合い、仲間とともに伸びようとする青江っ子」を育成するために、学校をあげて育成を目指す資質・能力を「課題発見力」「課題解決力」として、「あきらめずにチャレンジする子」「大きな声であいさつのできる子」「えがおを大切にできる子」をめざし取り組んでいます。



NO.101 2021年6月 津久見市立青江小学校

学校経営から学ぶ

ランドデザインでは、子どもにどのような資質・能力を育成するかを明確にしています。また、4点セットについては、昨年度の成果と課題を明記しているため、新たなスタッフや保護者に対してもその設定理由が明確です。また、それぞれの取組指標を毎月それぞれのチームで検証を行っているため、困っている点や改善策が明らかになり、翌月の取組がより焦点化、具体化されています。

今後は、取組指標の中に短期で検証ができそうなものは期間を決めて（2週間～1ヶ月）集中して行うことで、教職員も子どももより成長を感じたり課題を明確したりすることができるでしょう。そのことで、取組指標が頻度だけでなく内容の質が次第に高い目標となり、子ども達自身がより成長（資質・能力の育成）を感じることでしょう。

あ

あきらめない

まずは自分で考える。
自分で調べる。周りに流されない。

授業から学ぶ

授業では教師と子どもの距離が近く、子どもは安心して課題に取り組んでいました。特に1年生は挙手の仕方、聞き方など学習の約束がこの時期によくできていますね。今後は、個別的な指導の割合よりも、子ども達が学び合う時間を増やすような授業の在り方を考えることで、本校の目指す子ども像に近づくとおもいます。互見授業などをおして、教師の立ち位置について研修してはいかがでしょうか。

指導案では「ふりかえり」を子どもを主語に記入しています。（素晴らしい!!）

今後は、ふりかえりて、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「めあて」との運動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な研修を行うことで、授業力が向上すると思えました。楽しみです!!



NO.102 2021年6月 津久見市立青江小学校

お

大きな声で

安心して発表できるのは、教室が学ぶ意欲にあふれているから。



NO.103 2021年6月 津久見市立青江小学校

え

笑顔になるために

教えてくれてありがとう。わかってくれてうれしいよ。学び合いで共に笑顔に!